

解答用紙

受験者 氏名	はくにゃん
-----------	-------

受験者シールのバーコードシール
1枚をこの上に貼り付けてください。

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

夫の転勤が決まり、自身の仕事をやめなければいけないのではないかと悩んでいるが、そのことについて夫と話をすることが出来ておらず、自身の仕事と私生活の優先順位がつけられていないこと。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

良 夫の転勤が決まった事について不安を感じているCLの話を聴き、少しづつ信頼関係が築けている。
悪 CLの仕事はどうするか、思っていることをお話しただけのような問いかけができていない点。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ① 問題 夫の転勤が決まったが、それに伴い家族が転居する可能性について、夫と話し合う前に以前話した内容からCLがどうするか「良」か「悪」か悩み優先順位がつけられていない点。
② その根拠 以前転勤の話が出てきた際に、夫が単身で引っ越しをされると言われ、CLの思いとは違って、夫について話をすることができておらず、今回の決定についてもCLの懐疑的でどうすれば「良」か優先順位がつけられず「悩んでいる」、夫とのコミュニケーション不足があるように見受けられる。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

夫の転勤という大きな環境の変化に直面しているCLの気持ちに寄り添い、話をよく聴くことで信頼関係の構築に努める。そのうえで「もしやたら私が会社をやめなければいけないんじゃないか」と悩むCLの気持ちに問いかけ、CLの仕事と家庭、家族に対する思いに問いかけてお話しを促す。さらにCLの仕事に対する思いや、家族のあり方について、夫と話せていない事について慎重に話を伺い、コミュニケーションの機会を増やさないか提案する。最終的にはCLの最も大切にしている事を夫とも共有して、CL、家族が前向きに今後について決められるよう支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。